

同窓会報

2025年(令和7年) 12月発行 須知高等学校 同窓会



ごあいさつ

同窓会長 片山 俊明

日頃は、須知高校同窓会に
つきまして、ご支援とご協
力を賜り、心から感謝とお礼を
申し上げます。

現在須知高等学校は、全
国的な状況ですが地域の少子化
により生徒数が減少しており
学校運営に大きな影響がある
と考えられます。こうした中
で、京丹波町唯一の府立高校

である本校と、京丹波町が一
体となり、須知高校の魅力化
に向けて勉強会を開催し、全
国規模で生徒募集の実績を挙
げているコンサルティング企
業の助言を受けています。

本校は京都府農牧学校開校
以来150年を迎えることになり
ます。150年の伝統を継承し、
今までの力を活かしていただき
ますよう宜しくお願いします。
また皆様のご支援のおかげ
で、学業はもとより、ホッケー
部や野球部等の部活動で生徒
が活き活きと頑張ることがで
きています。



▲銀杏並木

ご挨拶

校長 坂本 正義



同窓会の皆様におかれましては、ま
ずご健勝のこととお喜び申し上げ
ます。本校の教育活動の推進に格別
なご理解とご支援を賜り、厚くお礼申
上げます。

さて本校は、京丹波町唯一の府立高校
として、町から多大なるご支援をいた
さながら、魅力化や活性化を推進して
おります。昨年9月より、京丹波町と本
校の主催による「京丹波町と須知高校の魅
力化に向けた勉強会」を発足しました。

勉強会には、京丹波町長様をはじめ、町
の理事者や関係部署の幹部の皆様、町内
の教育関係者、そして本校関係者など総勢
約30名の皆様方にご出席いただき、「須知高
校の魅力と役割」などをテーマに、ワー
クショップや講演会など、今年9月まで
に計6回開催いたしました。この勉強会
でいただいた貴重なご意見やアイデアを
もとに「須知高校の魅力化に向けたシ
ョン」を今年度中に策定する予定です。こ
のビジョンは、本校で目指す教育
目標を達成するために関係者の皆様と
ともに今後どのように取り組んでいくの
かを示すものです。また、今年度より京
丹波町から寮の設置や生徒募集活動に
関係するご支援もいただいております。本
校では令和2年度の入学選考から、ホッ
ケー部を対象とした全国活動特別選考を
実施しておりますが、他府県からの生徒が
受け入れるために必要とされる寮などが
整備されておられません。そのため全国選
抜制度がはじまった当初5年間は、地域
の方のご協力のもと、下宿により対応し
てまいりました。しかし、下宿先の安定
した確保は難しく、全国選抜制度を活か
した生徒募集活動の課題の一つとなっ
ておりました。そのような中、京丹波町

らは寮の設置や運営、全国選抜に係る
生徒募集活動においても、本校ホッケー
部の全国的なPRなど、多方面にわたる
ご支援をいただいております。さらに「須
知高校魅力化プロジェクト」として、京
丹波町内の中学生への本校の特色や魅力
発信にもご協力をいただいております。
これらのご支援に心より感謝し、心より
謝申し上げます。

今後京丹波町と須知高校が一体とな
り、京都府教育委員会とも連携しながら
本校の魅力化や活性化を推進することが、
京丹波町のまちづくりや人づくりにつ
ながると確信しております。そのため
にも、他の府立高校には見られない、地
域や企業との連携や協働による特
色ある教育活動にさらなる推進し、生徒
の夢の実現に向けて、より質の高い教育
活動を提供してまいります。同窓会の皆
様をはじめ、地域の皆様方には、今後と
も本校の教育活動にご理解とご協力を
賜りますようお願い申し上げます。

また、皆様ご承知のとおり、本校の
歴史は明治9年(1876年)に京都府が
米田からジェームス・オースチン・ウ
ィー先生を招き設立した京都府農牧学
校に始まり、その伝統を受け継いでいま
す。この地には、船井郡立実業学校、
京都府立須知農学校、京都府立須知農
林学校、京都府立須知農業高等学校を
経て、昭和23年11月1日に現在の「京
丹波町立須知高等学校」として発展し
てまいりました。

令和8年度には京都府農牧学校から
数えて設立150年の節目を迎えます。
これまでの歩みを振り返るとともに、輝
かしい歴史と伝統を継承し、本校のさ
らなる発展に資する記念事業を学校、
同窓会、PTA、京丹波町と共に準備
を進めているところであります。同窓
会員の皆様にも、この趣旨に御賛

皆様のご支援を生徒も教職
員も一丸となって感謝しなが
ら、元気に他校にない一体的
な活動ができていますので一
層のご支援ご協力をお願いし
ます。

結びに、本校の一層の活力
を實踐し、須知高校の更なる
輝きある発展にご協力とご支
援をいただきますよう、あら
ためお願い申し上げます。と
ともに皆様の心健勝をお祈
りしご挨拶いたします。



▲防災訓練

球技大会

▲日本菊花全国大会

表参道の様子

高松宮獲得した
菊と生徒

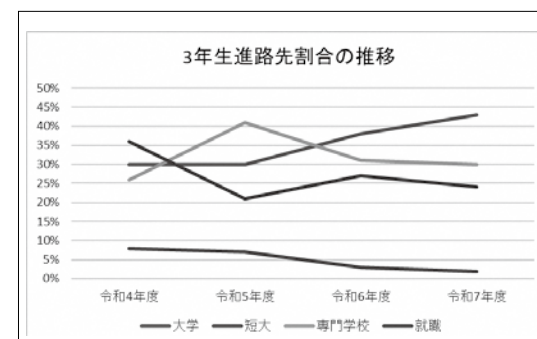
進路指導部だより

進路指導部長 辻垣 晃一

近年、生成AIが目まぐる
しく進化を遂げ、社会の急速
なデジタル化などの環境変化
の中、求められる能力が変化
しています。10年前の第一位
は、「注意深くミスがないこ
と」でしたが、25年後(2050
年)には「問題発見力」にと
って代わっています(経産省「未
来人材ビジョン」(令和4年5
月より))。

本校においては、「問題発見
力」を向上させるために、総
合的な探究の時間で自らの課
題を設定し、情報収集・整理・
分析をして解決していく探究
活動に取り組んでいます。こ
うした探究の授業で何をし
たか問われる受験も増えてい
ます。総合型選抜や学校推薦
型選抜(以下、早期入試)が
それです。なんとこの両入試
制度を採用する大学は全国で
51.8%もあります(文部科
学省「国公私立大学入学者選
抜実施状況(令和6年度より)」
約半分の大学で教科以外の能
力を評価する時代に突入して
いるのです。本校でも同様で、
年々この入試制度を使ってい
く受験する生徒が増えてきて
います。

本校では、従来の教科指導
に加え、早期入試に対応し
た指導体制も整えています。
生徒1人に対して教員を3名
つなぐ体制です。



3年生進路先割合の推移

希望者を対象にセミナーを年
14回実施し、就職への心構
え、面接練習、求人票の見方
など就職試験への準備、内定
後の動きなどを指導していま
す。今年は履歴書が改定され
ました。趣味・娯楽欄が消え
ました。志望理由書の欄にア
ピールポイントの記入が追加
されています。高校生活で自
分自身をどうに社会に出る
生かすことができるのか、培
った強みをうまく表現してい
たいです。

- 令和7年度 部活動等の主な結果 (全国大会等は太字で表記)
- 第74回平和祭市民パドミントン大会
男子E級シングルス優勝 女子E級シングルス優勝
 - 令和7年度全国高等学校総合体育大会出場 (インターハイ)
男子ホッケー部出場
 - 令和7年度ユース(アンダー18)
女子ホッケー日本代表選手として1名の生徒が選出
アジアカップ優勝・日韓交流事業主勝
 - 第76回京都府学校農業クラブ連盟大会
意見発表：分野I類 最優秀・分野II類 最優秀
プロジェクト発表：分野I類 優秀・分野II類 優秀
農業情報処理競技会：優秀 乳牛審査講習会：優秀
 - 第9回高校生東南アジア小論文コンテスト：学校奨励賞
 - 第25回全国高校生エッセイコンテスト：銀賞・奨励賞
 - 令和7年度税に関する高校生の作文コンテスト
丹波租税教育推進協議会会長賞
 - 第19回京都府美術工芸教育展
京都府教育委員会教育賞・京都新聞社賞
 - 第73回近畿学校農業クラブ連盟大会
意見発表：分野II類 最優秀
 - 第76回日本学校農業クラブ全国大会
意見発表：分野II類 出場 農業鑑定競技会 出場
 - 第42回日本菊花全国大会
三本仕立12鉢花壇の部 高松宮妃記念杯(ブロンズ) 連覇
補助花壇の部 徳島県知事賞 他 多数受賞

開校記念日講演会



講師 京都生活協同組合前理事長 畑 忠男氏 (昭和55年卒)

良き仲間、良き人たちに恵まれて

『頼もしき隣人たらん』・人とのつながりを大切に

11月4日、開校記念日講演
会が開催されました。講師に
は、本校を昭和55年(1980
年)に御卒業された京都生活
協同組合前理事長 畑忠男氏
をお迎えし、「良き仲間、良
き人たちに恵まれて」「頼も
しき隣人たらん」・人とのつ
ながりを大切に」という題
で講演いただきました。

畑氏は高校時代、サッカ
ー部に所属し、厳しい練習を
通じて体力とチームワークを
培っていました。この経験は
大学生活や社会人になってか
も大きな支えとなり、「努力の
積み重ねが力になる」という

日本菊花全国大会 2連覇

食品科学科の 取組紹介

食品科学科では昨年度に引き続き、地域との連携
地域資源を活かした取り組みの充実を図っています。
各コースの取組ですが、乳肉加工コースでは和知にあ
る長老酒造様の酒粕を利用した酒粕アイスの開発・製
造に取組む、商品化する取り組みができました。株式会社
丹波ワイン様の協力により、店頭販売を実現しまし
た。農産加工コースでは十文字学園女子大学の芝崎先
生、京丹波町役場、本校の三者で連携を進めています。
瑞穂で栽培されている小豆「瑞穂大納言」を用いた加
工品の製造・販売に取組んでいます。生物活用コース
ではウイードの森に広がる孟宗竹を利用したメンマの
製造や、クロモジを使った活動を進めています。

農業クラブ専門部活動も昨年に引き続き一層、充
実してきており、お菓子部では京丹波町で開催された全
国モンブラン大会に向けて、プロから指導を受け活動
に取り組んできました。草花部では定期的に校外で販
売会を実施するなど、積極的に地域連携を推進してく
れています。食品科学科では、皆様の時代から受け継
がれてきた「ものづくり」の精神を大切にしながら、
新しい時代に対応した教育を展開しています。

今後とも須知高校食品科学科へのご支援、ご協力を
賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

食品科学科では昨年度に引き続き、地域との連携
地域資源を活かした取り組みの充実を図っています。

